

学校法人岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校
平成 30 年度 第 2 回学校関係者評価委員会

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 30 年 10 月 19 日 16:30～17:30 |
| 会 場 | 横浜リハビリテーション専門学校 非常勤講師室 |
| 出席者 | 東戸塚品濃町内会関係者様、西横浜国際病院関係者様、東戸塚記念病院関係者様、副校長、理学療法学科長、ほか教職員 6 名 |
| 内 容 | 司会：秋本 書記：杉山 |

I. 副校長挨拶

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。本校は 4 年制専門学校であり、卒業時に高度専門士の称号を所得することができます。また職業実践専門課程の認定を受けています。学校教育力の向上のため、学校関係者評価委員会で外部の皆様からご意見を頂きたいと思っております。学校評価委員の皆様から貴重な意見を反映させ、学生教育に取り組んでまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

II. 学校関係者評価委員会委員委嘱および委員・本校職員 自己紹介

III. 報告事項：平成 30 年度前期達成状況と平成 30 年度後期課題について

(資料：平成 30 年度前期自己評価表を基に報告と説明)

各担当より平成 30 年度前期の達成状況と平成 30 年度後期に取り組むべき課題について報告と説明を行った。

1. 教育目標・理念

- ・教育理念等を Web サイトにて公表。入学者および保護者には入学ガイダンスにて周知している。
- ・本年度、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーについて、HP 上で公開している。
- ・カリキュラム、シラバスを作成し、よりわかりやすい形で学生に提示している。カリキュラムは、臨床実習施設にも配布。シラバスは Web サイト「本校の HP」の学生のページで時間割と共に閲覧可能である。

2. 学校運営

- ・理事会、岩崎学園管理職の会議、本校教務部会議、学科会議、各業務会議、グループリーダー会議、朝礼を開催。臨床実習等のスケジュールに合わせフレキシブルな運用にも心がけている。会議体が増えてきたため、時間の効率化、開催頻度について柔軟な対応が求められる。
- ・年度ごとに各業務係（図書・備品、国家試験対策、学校行事、臨床実習、FD）を決定し、遂行している。事務局に 2 名の派遣職員を採用し業務の適正化を図った。
- ・学籍管理、成績管理、証明書発行、学生募集等システム化。学生に配布するシラバス・教材等はネッ

トワーク上サーバにてアクセス可能にしている。

- ・平成 29 年度より学園共通データベース運用をスタートしている。

3. 教育活動

【シラバス・カリキュラム】

- ・開講前に各教室にシラバスの冊子を配置し、学生ネットワークに時間割と共に開示した。
- ・配置時に、各科目担当教員や担任より学生への周知・活用を促した。
- ・学生募集イベント「体験入学」にて入学前の高校生に模擬授業を展開し、学校を知ってもらうと同時に高校生の現状を把握している。
- ・平成 29 年度より任意ではあるが、入学前学習として現代国語の通信教育を導入し、国語力の強化策を講じている。
- ・入学試験では受験生全員に個別面接を課しており、生活習慣、学習習慣、社会適応力などについて聴取し、必要なカリキュラム改定を実施している。
- ・教職員 3 名が県立高校 3 校（横浜南陵・瀬谷・金沢総合高等学校）にて評議委員を務め、入学前の学習状況を確認した。
- ・厚労省にて養成課程の新指定規則（平成 32 年度生より）が決定し、それに基づきカリキュラムの見直しを実施中である。
- ・新指定規則に対応した新カリキュラム素案を、平成 30 年度の教育課程編成委員会で開示し、関連分野の企業・関係施設等、業界団体等のご意見をいただいた。

【教育力向上】

- ・就職指導部との連携により、合同就職説明会などにおいて病院・施設等の採用ニーズ「求められる人材像・具体的な技術・知識」を聴取している。
- ・臨床実習における症例報告会では外部関係者との意見交換を実施しており、その状況を臨床実習訪問時に情報収集している。
- ・関連分野のプロである非常勤講師と意見交換を実施している。
- ・臨床実習訪問時に、卒業生の状況、学校への評価などについて随時聞き取り調査を実施している。
- ・平成 30 年度に向けての授業スケジュールの見直しを計画した。
- ・平成 29 年度にシラバスの改訂を行い、平成 30 年度では学生への認知、活用についてアンケートを実施し、まとめを報告した。
- ・前期授業アンケートは 5 月 21 日～6 月 1 日に適正に実施され、回収率 94.5%であった。また、常勤・非常勤教員への結果のフィードバックも行われた。
- ・常勤・非常勤教員への学生授業アンケート活用についての実態調査を実施した。
- ・H30 年度現時点までの学会や各種研修会等へ参加は概ね実施されている。年度内には、まだ複数の学会・研修会への参加を予定している。

【臨床実習】

- ・実習依頼、実習施設確保、承諾書の集計と管理、実習施設からの申請書、契約書の管理は、各学年ともに概ね滞りなく実施した。
- ・回答結果に対する公文書の送付については入念なチェックを行い、概ね滞りなく実施した。

- ・3年次指導者会議参加率（H30.6.23開催）は理学療法学科77.8%（72施設中56施設出席）、作業療法学科68%（50施設中34施設出席）であり、例年と比較すると理学療法学科の出席率が減少している。
- ・平成31年度4年次臨床実習指導者会議（H31.3.8開催予定）に向けて準備を行っていく。その際、出席者数の増加や臨床教育の向上の為の講演会内容を吟味していく。
- ・来年度の神奈川県への新規実習施設申請は、現在のところ理学療法学科6件の登録を行った。概ね滞りなく実施した。

【情報公開】

- ・カリキュラム一覧表並びに授業風景、国家試験の合格率、就職率について本校HPおよびパンフレットにて公開している。
- ・授業アンケートの結果については、各科目担当者が学生にフィードバックを直接行うのみで、まだ公開はしていない。
- ・専門職大学の規定も取り入れ、授業アンケート結果及び対応などの公開に準備をしていく。

4. 教育成果

- ・研究論文を作成する力が低下してきているため、研究手法や論文作成について新たなマニュアルを作成し実施している。4年次の発表会は11月16日に行われる予定である。研究手順や論文作成、発表について、よりきめ細やかに指導を継続する
- ・臨床実習空き期に国家試験の傾向と対策についてのオリエンテーションを行い学生の国家試験勉強の意欲を高めた。
- ・国家試験担当教員を学生・教員のタイプに合わせて、決定し個別指導を行っている。
- ・解剖学、生理学については、学習低迷者数名を対象に補講を行った。
- ・卒業試験問題の精度向上のため、試験作成者に昨年度作成問題の正答率を提示、本年度の難易度の配分依頼を行った。また、今年度も卒業試験基準点についての方法は事前に確認する。
- ・本年度も引き続き業者模試を含め、年間13回の実力試験を実施する計画であり、現在、予定通りに進んでいる。試験結果は、分野別の正答率（平均点を含め）を提示し、学生個々の苦手分野への指導ツールとして利用している。
- ・卒業試験問題は回収せず模範解答および解説を提示している。現在、卒業試験の依頼しており、各教員が問題を作成中である。

5. 学生支援

- ・年度初めは、新生に社会性や公共性に欠ける言動の学生が散見されるため、基本的な生活習慣と社会性について指導した。しかし、1年生については、十分浸透しているとはいえ、引き続ききめ細やかな指導が必要である。また、実技授業等においても随時社会人・医療人としての資質の育成・向上に向けて指導を行っている。
- ・5月より各クラスから学園祭実行委員を2名選出し、2年生の代表を中心に月1回会議を実施。本年度のテーマなど自分たちの思いを形にしている。9月最初に岩崎本部への企画書提出であったが、今年は昨年度の反省を活かし実習中であっても事前準備し期限内に提出できた。
- ・保健所へも企画書を提出し、食中毒への衛生対応を学生全体に周知している。
- ・昨年度同様に学生より依頼があり、1階にて作業所出店（3施設）予定。うち1施設は新規施設。

- ・本年度の卒業式は合同卒業式と横リハのみの証書授与式を実施する。会場は予約済みであり、会場見学も実施してきた。横リハらしい企画を考え、実施に向け準備を進める。またその時期は入学・進級式など行事が重なるため、本部調整と学校内部調整と分担し取り組む。

6. 教育環境

- ・新規解剖生理学デジタル教材として Visible Body（3D 人体解剖学習リソース）を導入。
- ・平成 28 年度より献本の図書室内管理を開始しており、平成 30 年 3 月現在、図書室保管の文献数は 3,725 冊である。平成 30 年前期も献本を図書室管理とした。8 月に図書室保管蔵書の整理を実施した。図書活用を推進するために、年度末に新規購入蔵書について周知を行い、蔵書利用者の増加を図る。
- ・メディカルオンラインの利用については、引き続き適正利用と利用者増加を促す。次年度に向けてメディカルオンライン以外の WEB 検索システムの導入を検討する。
- ・後学期間に「養成校備品・設備施設基準」に基づいて保有点検を行う。引き続き各実習室の機器、備品の整備を実施する。

7. 学生募集

- ・「学校説明会」年間 10 回開催。学校紹介・各学科紹介・教員紹介・職業講話・入学説明・校舎案内を実施。
- ・「進学説明会」年間 2 回開催。
- ・保護者向け、高校既卒者向け等、状況に合わせた説明会を実施した。
- ・入試面接対策講話・入試情報・分析、個別相談を実施。
- ・「ビギナーズリハビリ体験ゼミ」年間 4 回開催。
- ・体験ゼミ、また参加者に対し病院見学を実施予定
- ・短時間で校舎見学と体験が可能なオープンキャンパスを実施した。

8. 社会貢献・地域貢献

- ・高校生向け講座：「仕事のまなび場」（夏休み 4 講座）・「総専協夏季公開講座」（夏休み 4 講座）放課後児童クラブの児童を対象に体験イベントを実施した。その他、中学校・高校より依頼を受けて、職業講話などを行っている。
- ・レンタルスペースとして職能団体等の研修会へ協力している。
- ・神奈川県障害スポーツ大会運営ボランティアへの協力；計 5 回（4/15、5/13、6/10、7/8）。理学・作業療法学科 1 年 119 名参加。
- ・人体解剖展；6/2 作業療法学科 1 年 36 名参加、他地域作業所ボランティアを実施した。
- ・東品濃小夏祭りボランティア（8/25）として、作業療法学科の 1 年 4 名、2 年 2 名が参加。

9. 法令等の遵守

- ・所管の神奈川県へ現況調査（学生数・教職員数・卒業状況等）を報告した。
- ・平成 30 年度の新入生は、PT 学科で定員+1 人（平成 29 年度+11 名）、OT 学科は定員-5 名（平成 29 年度+3 人）であった。平成 31 年度新生、選抜試験が始まっており定員数管理を徹底する。
- ・臨床実習開始前に個人情報の取り扱いについて指導を徹底している。
- ・自己評価は、学校運営の一部（授業アンケート、保護者アンケート、教職員の自己評価等）となって

いた。平成 24 年度より「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、本形式にて実施している。

- ・本年度の後期にて、平成 30 年卒業生並びに本卒業生の就職先にアンケート調査を実施計画中

IV. 質問・意見

木村様

国家試験指導教員を学生・教員のタイプに合わせて決定し個別指導を行っているが、その効果はどうか。

島田主任

性格で分類分けされており、学生と教員のマッチングに一定の効果をだしていると思われる。

木村様

毎年、新人教育でプリセプターを選ぶ時に迷ってしまう。新人職員とプリセプターの性格を考慮して決めているが、本学のように機械的に性格分類で決定する方法も検討していきたい。

本橋様

学力低下が問題になっているが、本学の状況はどうか。

林副校長

高校生は大学志向が目立ち、入学志願者は減少傾向にあるが、個人差はあるものの全体的によい学生が入

学してくれている

本橋様

学生の社会性に対する指導はどうか。

中村学科長

遅刻欠席は厳しく指導しているが、長期欠席の学生も数名みられる。また子供が長期欠席していることを把握していない保護者もいる。今後も保護者との密な連携、情報共有が必要と考える。

本橋様

下宿している学生の割合はどうか。

中村学科長

下宿している学生は 1 割ほどで減少傾向である。担任を中心に下宿学生に生活の悩みを聞きフォローしている。

V. 次回の会議について

次回の会議開催について、平成 31 年 4 月 19 日（金）に開催する予定です。後日、ご案内させていただきますので宜しくお願い致します。

以上
文責：杉山